



2022.12

# ADF Newsletter

一般社団法人アジアデンタルフォーラム

〒113-0033 東京都文京区本郷2-25-6 ニューライトビル204 ☎ 03-3830-0304 fax 03-3830-0307

[vol.006]

## ■9月21日JDAT同窓会

Japan Dental Alumni Thailand (JDAT) の会合が2年ぶりにタイ、バンコクのホテルにて開催されました。

JDATは、日本に留学した歯学系の先生方の同窓会組織です。今回出席した先生方は、Chulalongkorn大学、Mahidol大学、Srinakharinwirot大学、Siam大学、Srinakarintaraviroj大学の准教授14名、講師6名、助教7名、及び開業医2名の計29名です。今回から2010年代に日本へ留学した5名の先生方が新たにJDATの会員となって参加しました。JDATでは、今後東京医科歯科大学だけではなく、他の日本の歯科大学や歯学部に留学した人達にも広く呼びかけて会員を増やす方針であると、現会長のアティパン先生より報告がありました。これからの更なる発展が楽しみです。会員で揃いのポロシャツも作成されていて、連帯感の強さを感じました。

今年、ナロンサック先生（シーナカリン大学副学長）、チョンタチャ先生（マヒドン大学教授）、スコンタ先生（チュラロンコン大学教授）が退任され、記念品が授与されました。今後は別の大学や歯科医院などで勤務される予定とのこと。今後もJDATへご尽力くださることと思います。

また、当日は、日本企業としてサイアムデント社、タイロツテ社、タイライオン社にご参加・ご支援を頂きました。

今回はコロナ禍であるため参加人数を制限しての開催となりましたが、近い将来全員が参加出来る日が来ることを祈念します。今後は、JDAA（Japan Dental Alumni Asia）アジア全体の帰国留学生同窓会を開催する方向で検討しています。



2022.12

# ■予定：タイ予防歯科セミナー

ADFでは、2023年2月24日にタイ王国立マヒドン大学歯学部主催の予防歯科セミナーを開催する運びとなりました。支援企業を募集致します。

**【背景・目的】**タイでは健康意識が高まり、歯科においては治療だけでなく口腔健康維持のためのう蝕、歯周病予防に関心を向ける人が出てきている。しかし、歯科診療を提供する側にはその概念や方法論は不足しており、情報を求めている。日本では20年以上前から予防を主体とした歯科診療が行われており、良好な長期予後を得ている。本セミナーにおいて、日本の予防診療実績のある歯科医師が、タイの先進的歯科医師へ日本での事例を紹介し、タイでの予防型歯科診療を支援する。併せて、日本の予防型歯科診療で使用している機材、製品を紹介し、日本企業の営業活動を支援する。

**【主催】**マヒドン大学歯学部

**【支援組織】**JDAT、一般社団法人アジアデンタルフォーラム

**【支援企業】**タイロッテ、他参加企業募集中

**【講師】**ADF鈴木彰 専務理事（ベル歯科医院院長）

**【言語】**英語

**【日時】**2023年2月24日（金）

10:00-12:00 予防歯科セミナー

12:00-13:00 予防歯科商品紹介及びランチ

**【場所】**マヒドン大学歯学部セミナールーム

**【対象者】**大学関係者（マヒドン、その他）、予防に関心のある臨床歯科医師、医療行政関係者。ベトナム・カンボジアからも参加予定。

**【人数】**50名程

**【支援特典】**

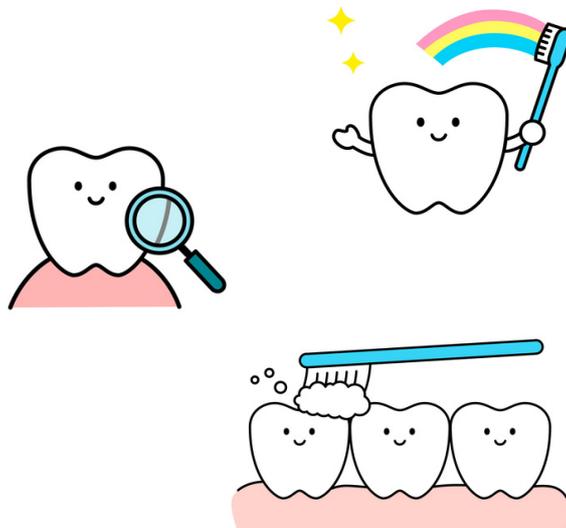
- ・セミナー内で紹介する支援企業製品については、企業名・商品名を明示します。
- ・ランチタイムに商品の展示・説明及びパンフレットの配布等を行うことが可能。
- ・申込み期限：2023年1月20日（金）
- ・費用：お問合せください。

**【ADF会員企業特典】**

- ・通常は覗くことが出来ないタイ国立大学の授業を見学していただけます。今後開催されるセミナーへの支援をご検討頂くためのご参考になさってください。
- ・申込み期限：2023年1月31日（火）
- ・費用無料。昼食の用意はございません。

当セミナーへの支援申込み・お問い合わせ先：一般社団法人アジアデンタルフォーラム 事務局 岩崎宛  
mail to: [adf.sec80104@gmail.com](mailto:adf.sec80104@gmail.com)  
Tel: 03-3830-0304

2022.12



# ■ベトナムの大学で予防歯科講演を実施

## アジアデンタルフォーラム専務理事 鈴木彰

2022年10月にベトナム・ハノイ近郊の2大学で講演を行いました。

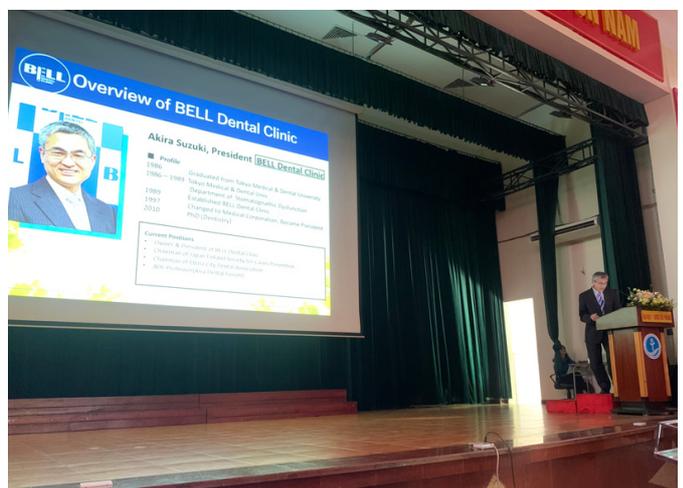
ベトナム歯科医師会（VOSA）はロッセキシリトールガムをむし歯予防効果があると認定し、歯学部学生や教職員へその学術的効果を伝えるために各大学で講義を行うことを決定しました。

この事業は、2015年より毎年実施しています。2020年、2021年はコロナ禍で中止しましたが、2022年は10月より再開することとなりました。講演は、株式会社ロッセの後援する「日本フィンランドむし歯予防研究会」会長の鈴木彰（ADF専務理事）が担当しています。

テーマは、「初期う蝕とキシリトールの基礎知識」で、う蝕の病因論、検査・処置法とキシリトールの生化学的性質と初期う蝕への効果、ミュータンス菌への抑制効果などを解説しています。

2022年10月26日、首都ハノイから車で2時間あまりのタイグエン市にあるタイグエン医科薬科大学で2時間の講義を実施し、翌10月27日、ハノイから車で約3時間のハイフォン医科薬科大学で同じく2時間の講義を行いました。

2022年は12月にもホーチミン市、ハノイ市で同様の講演を実施してました。



# ADF ホームページ リニューアル

アジアデンタルフォーラムでは、各国で組織された帰国留学生の同窓会メンバーとも情報を共有したいと考え、ホームページの2か国語化に取り組んでいます。

## 関連組織

### Related Organizations

Medical Excellence JAPAN  
公益財団法人 日中医学協会

## 法人会員

### Corporate Members

一般社団法人国際歯周内科学研究会  
クラレノリタケデンタル株式会社  
株式会社モリタ  
株式会社ジーシー  
株式会社ニッシン  
中村デンタル株式会社  
株式会社吉田製作所  
株式会社松風  
タカラベルモント株式会社  
株式会社ナカニシ  
株式会社トミーインターナショナル  
株式会社Microexam  
株式会社ロッテ

English⇒

"Mingalarbar"という言葉は、ミャンマーで日常的に使われる「ご機嫌よう」の意味の挨拶です。

ミャンマーは旧名ビルマとして知られています。有名なクラシック映画である「ビルマの竝琴」は当時の日本人にビルマを知っていただくものでした。

現実と唯一異なっていたのは、僧侶は本来竝琴を弾くことはありません。シナリオや映像も大変興味深く印象に残る内容でした。

ミャンマーは国土が日本の約2倍であるものの、人口は約半分の6千万人です。

しかしながら、歯科大学卒業生は3万人を超えています。軍医大学の歯学部から若干名と、2校ある国立歯科大学のうち、ヤンゴン大学から2,648名、マンダレー大学から973名がB.D.S.の学位を取得しています。

大学では、一般患者へ基本的な歯科医療を行えることを目的に指導しています。ただ残念なことに、大多数が全人口のたった30%が居住する大都市の個人歯科診療に従事しています。

また政府雇用を望み続けている卒業生も一部います。

ミャンマー歯科評議会の記録によると、2,400名が歯科免許を取得し診療に従事しています。

うち403名が国内の様々な医院に勤務し、約1,400名は開業医です。

ミャンマーには、未だ健康保険制度が確立されていません。

抜歯、充填、口腔清掃などの基本診療については、国立病院では無料で行えます。

補綴を含む全ての治療が有償で個人クリニックで行えます。平均的な治療費は抜歯、充填、歯石除去および研磨がUS\$10/本、根管治療がUS\$50/本、陶歯冠・小さな部分床義歯がUS\$100/本、総義歯US\$300などです。

127名の歯科医が大学関係の様々なポジションで活躍しています。2つの大学歯学部部長である私とShwe Toe教授の2名は、ともに1年間東京医科歯科大学において、私は1996年に高齢者歯科学、マンダレーの歯科大学のShwe Toe教授は2000年に口腔病理学の教育を受けました。



## Biruma no Shi Kha: An Excerpt



"Mingalarbar", a word of greeting meaning best wishes to you, is commonly used in Myanmar. Myanmar was formerly known as Burma. Biruma no Shi Kha, a famous classic movie introduced our country to most of Japanese people in those days. But only thing contradicted to the real situation is that the Buddhist monks are not supposed to play the harp "tate goto". The theme and the presentation was quite interesting and impressive.

Myanmar is wider than Japan two times and lesser in population about half, sixty millions only. However the number of dental graduates produced is just more than thirty thousands. Two national dental universities, Yangon and Mandalay conferred B.D.S. degrees to 2648 graduates and 973 graduates respectively with a very few number from the dental department of Military Medical university. The aim of the universities is to produce basic dental surgeons for the grassroot level. Unfortunately, majority is sticking for private practice to the big towns where only 30% of total population is residing. There is also a certain group of graduates waiting for the government employment. According to the records of Myanmar Dental Council, 2400 active dentists are registered for dental license. Among them 403 dentists are working at the various hospitals over the country. About 1400 dentists are private practitioners. Myanmar has no health insurance system at yet. The basic dental treatment such as extraction, filling and oral prophylaxis can be free of charge at the government hospitals. All sorts of treatment including prostheses are out of pocket system at the private dental clinics. As an average fee, US \$ 10 for one extraction, one filling, scaling and polishing; US \$ 50 for one endodontics; US\$ 100 for one porcelain crown, short span partial denture; US \$ 300 for complete denture; etc.. A total number of 127 dentists are working with the universities at various positions.

